

新型しん がたコロナウイルスせつ しゅワクチン接種のお知らせ



広島市内にお住まいの65歳以上の方への
新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンの接種が始まりました

接種費用
無料

※このお知らせは、高齢者(令和3年度中に65歳に達する方(昭和32年4月1日以前に生まれた方))を対象としています。
※高齢者の中でも、年齢の高い方などから段階的に送付しています。

ワクチン接種までの流れ

①

クーポン券が届く

- 広島市から住民登録のある住所地に接種用クーポン券(2回分)を送付します。
- 接種は無料です。
- 接種用クーポン券は、予約や接種の時に必要です。大切に保管してください。

②

接種会場を探す

- 接種は予約制で、①一部の医療機関 ②集団接種会場 で受けることができます。接種場所は順次、広報紙「ひろしま市民と市政」や広島市ホームページ等でお知らせします。

広島市 コロナ ワクチン

検索

③

予約する

- 予約は「電話」または「インターネット」で受け付けます。予約先の詳細は、以下をご覧ください。

④

当日、接種会場へ

- 必ず、裏面に記載の接種当日の持ち物(①接種用クーポン券 ②本人確認書類 ③予診票)をお持ちの上、予約した日時に会場へお越しください。
- ※①、②をお持ちでない場合、予約済でもワクチンは受けられません。
- ※当日の体温が37.5℃以上ある方もワクチンは受けられません。
- ※予診票は住所・氏名・生年月日・質問事項を事前にご記入ください。

接種には予約が必要です

ワクチンの効果を十分得るために、同じ種類のワクチンを一定の間隔(ファイザー社のワクチンの場合、約3週間)を空けて2回受ける必要があります。確実に2回接種できるよう、なるべく一度に2回分を予約してください。

どちらか一方を選択

A 医療機関での接種を予約

※一部の医療機関はBの手順で予約ができます

医療機関に直接お問い合わせください。ワクチン接種を行っている医療機関は接種総合案内サイト「コロナワクチンナビ」をご確認ください。

コロナワクチンナビ <https://v-sys.mhlw.go.jp>



※コロナワクチンナビで直接予約をすることはできません。
※医療機関や施設の入院・入所者は医療機関や施設でご相談ください。

B 集団接種会場での接種を予約

■広島市新型コロナワクチン予約コールセンター

TEL 050-3644-7513

(9:00-17:00 土・日、祝日も実施)

■インターネット予約

<https://v-yoyaku.jp/341002-hiroshima>



新型コロナウイルスワクチンの接種を希望することを伝えた上で、「氏名」「生年月日」「接種希望日時」などをお伝えください。

電話でのご予約の場合は、「接種券番号(接種用クーポン券に記載の10桁)」「誕生日」「接種を希望する会場名」「接種希望日時」をオペレーターにお伝えください。インターネットでのご予約の場合は、必要事項を入力してください。

2回目の予約がまだの方は、2回目の接種を予約

2回目の接種では、1回目に接種したワクチンと同じ種類のワクチンを接種する必要があります。

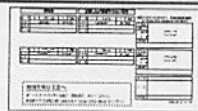
裏面も記載があります。

接種当日の持ち物

① 接種用クーポン券

このお知らせに同封されています。

2回分の「接種券」と「予防接種済証」が1枚になっています。毎回切り離さず、そのままお持ちください。



② 本人確認書類

名前・生年月日・住所が確認できる書類

- ・運転免許証
- ・後期高齢者医療被保険者証
- ・介護保険被保険者証
- ・身体障害者手帳
- ・在留カード
- ・生活保護受給者証 等



③ 予診票

このお知らせに同封されています。

- ・受付を円滑に行うため、住所、氏名、生年月日、質問事項(接種当日の状況)を事前にご記入ください。
- ・予診票は2枚同封しています。1回ごとに、接種の際にご提出ください。
- ・同封の予診票はファイザー社のワクチン用です。今後、別のワクチンが薬事承認された場合、様式が変わる可能性があります。



※上記の他、お薬手帳をお持ちの方は併せてお持ちください。

▶ 接種当日について

- ・接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは接種を控え、医療機関での個別接種の場合は予約した医療機関に、集団接種会場の場合は予約コールセンターなどにご連絡ください。
- ・必ず予約時間に間に合うようお越しください。遅れた場合、接種ができないことがあります。
- ・付き添いが必要な方は、介助者、支援者が同伴できます。
- ・接種は上腕に行いますので、接種しやすいように肩を出しやすい服装でお越しください。
- ・直接、筋肉に注射するため、接種時に痛みをともなう場合があります。
- ・接種後、状態観察のために、15分～30分ほど待機していただきます。接種にかかる時間は、全体で1時間程度です。
- ・接種後数日以内に頭痛・発熱・悪寒・筋肉痛・関節痛・下痢などの症状が起こることがあります。

▶ 広島市外の場所での接種について

- ・入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを受ける方 → 医療機関や施設でご相談ください。
- ・基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける方 → 医療機関でご相談ください。
- ・お住まいが広島市外の方 → 実際にお住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります。コロナワクチンナビでご確認いただくか、接種を希望する市町村の相談窓口にお問い合わせください。

▶ ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です(ワクチンの接種は強制ではありません)

- ・接種を受ける方には、接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解いただき、自らの意思で同意がある場合に接種が行われます。
- ・ただし、ご本人による意思確認が難しい場合には、ご家族やかかりつけ医などの協力のもと、接種についての同意が確認できた場合のみ、接種が行われます。
- ・現在、何かの病気で治療中の方や、体調など接種に不安がある方は、かかりつけ医等とご相談の上、ワクチンを受けるかどうかお考えください。
- ・接種後に健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済を受けることができます。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、首相官邸ワクチン特設ページをご覧ください。

官邸 コロナ ワクチン

検索



(厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター)

電話番号:0120-761770(フリーダイヤル)

受付時間:9時～21時(土・日、祝休日も実施)

ご相談やお問合せ

広島県新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

TEL 082-513-2847 (24時間対応)

FAX 082-211-3006 (広島県ワクチン接種体制整備班)

※聴覚に障害のある方など電話での相談が難しい方用(予約相談も可)

広島市 健康福祉局 保健部 健康推進課 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

広島市

ファイザー 社製

新型コロナウイルスワクチン予防接種についての説明書

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは16歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。(発症予防効果は約95%と報告されています。)

販売名	コミナティ [®] 筋注
効能・効果	SARS-CoV-2による感染症の予防
接種回数・間隔	2回(通常、3週間の間隔) ※筋肉内に接種
接種対象	16歳以上(16歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。)
接種量	1回0.3mLを合計2回

- 1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。(接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。)
- 1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチン接種を受けてください。
- 本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人(※1)
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症(※2)の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

(※1) 明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

(※2) アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

本剤には、これまでのワクチンでは使用されなかったものない添加剤が含まれています。

過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

(うらへ続く)

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上(過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は30分以上)、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。(急に起こる副反応に対応できます。)
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 当日の激しい運動は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。

また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。

なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすることができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナウイルスワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。

軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン(ファイザー社製のワクチン)の特徴

本剤はメッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンであり、SARS-CoV-2のスパイクタンパク質(ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質)の設計図となるmRNAを脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種によりmRNAがヒトの細胞内に取り込まれると、このmRNAを基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	トジナメラン(ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードするmRNA)
添加物	ALC-0315:[(4-ヒドロキシブチル)アザンジール]ビス(ヘキサン-6,1-ジール)ビス(2-ヘキシルデカン酸エステル)
	ALC-0159:2-[ポリエチレングリコール)-2000]-N,N-ジテトラデシルアセトアミド
	DSPC:1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン
	コレステロール
	塩化カリウム
	リン酸二水素カリウム
	塩化ナトリウム
	リン酸水素ナトリウム二水和物
	精製白糖

新型コロナウイルスワクチンの詳しい情報については、
厚生労働省ホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。